

IVR に伴う被爆には最大線量に関して勧告がある .

FDA : 推定最大線量 > 1 Gy の場合は記録が必要

ICRP : 推定最大線量 > 3 Gy ( 繰り返す手技 > 1 Gy ) の場合は記録が必要

被爆の影響

1 確定的影響 : 皮膚障害 2 Gy , 水晶体障害 5 Gy , 奇形 ( 妊娠 2 - 8 週 ) 0 . 1 Gy

2 確率的影響 : 癌の誘発 , 遺伝的影響

IVR に伴う皮膚被爆の測定結果

( 機能性色素を使った放射線インジケーター )

PCI 9 7 手技の結果 ( PCI 時間 6 - 70 分 )

最大入射皮膚線量 9 . 7Gy

皮膚線量が 5 Gy 以上が 6%

最大点の分布は広範にわたる

対策 : 同じアングルで透視を繰り返さない . 透視線量を常に意識して手技を行う等